



2022年度 ゴールデンウィーク期間ご利用実績 ～総旅客数、国内線は2.3倍(前年比)、国際線は約4.5倍(前年比)～

2022年度ゴールデンウィーク期間(2022年4月29日～5月8日)について、JALグループ航空会社便のご利用実績を取りまとめましたので、ご報告します。

国内線の総旅客数は、前年比で231%となっており、大変好調に推移しました。方面別では、全方面で前年を大きく上回っていますが、特に、東北・北陸、関西、中国・四国方面の総旅客数は前年比で約3倍となり、好調に推移しました。日別では、下りが4月29日をピークに5月3日まで、上りは5日をピークに、搭乗率の高い日が続きました。

国際線は、新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には達していないものの、水際対策の緩和などにより、総旅客数は前年比で446%となるなど、需要回復の兆しが見られました。特に、ハワイ線の総旅客数は、前年比で9倍以上となり、また、期間中にほぼ満席となった日もあり、ハワイ人気復活の兆しが鮮明となりました。

【JALグループご予約状況】※前年比は2021年4月29日～5月8日の実績と比較しています。

1. 国内線 (JAL、J-AIR、JAC、HAC、JTA、RAC各社合計) ※カッコ内は前年の数字

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比		前年比		前年比
1,354,064席 (861,810席)	157%	916,376人 (396,051人)	231%	68% (46%)	+22pt

※総旅客数について、2019年との比較では81%。

2. 国際線 (JAL) ※カッコ内は前年の数字

提供座席数		総旅客数		搭乗率	
	前年比		前年比		前年比
114,824席 (85,634席)	134%	73,039人 (16,364人)	446%	64% (19%)	+45pt

※総旅客数について、2019年との比較では28%。

詳細につきましては、添付別紙JALグループ各社ご利用実績をご覧ください。

以上